

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法演習Ⅲ		必修	1	4	集中
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小沢 健一 他	C305	k-ozawa		水曜 9:00~10:40	
授業の目的・概要	臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲにおいて診療場面を経験するにあたり、そこで必要となる専門知識の定着と体系的理解、および、評価、統合と解釈、焦点化、目標設定までの習熟を目標とする。授業方法は課題・双方向型の遠隔授業で実施する。				
学習上の助言	実習で求められる基礎知識を復習しておくとともに、ICFを用いた事例検討、臨床実習Ⅰで学んできた評価や治療を理解しておくこと。				
教科書	指定しない				
参考書	指定しない				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	事例を用いて臨床的思考を養い、作業療法評価・治療を検討できる			OT (2)	
②	臨床に必要な疾患やその原因となる基礎知識を説明できる			OT (1) (2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション (この科目の流れを説明)	講義	個別に事例検討の準備をする。		1
2	神経内科疾患についてまとめる フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	印刷教材等による授業	臨床に必要な疾患やその原因となる基礎知識を調べ、学習する。		3
3	内科疾患についてまとめる フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	印刷教材等による授業	臨床に必要な疾患やその原因となる基礎知識を調べ、学習する。		3
4	整形外科疾患についてまとめる フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	印刷教材等による授業	臨床に必要な疾患やその原因となる基礎知識を調べ、学習する。		3
5	精神科疾患についてまとめる フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	印刷教材等による授業	臨床に必要な疾患やその原因となる基礎知識を調べ、学習する。		3
6	小児科疾患についてまとめる フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	印刷教材等での授業	臨床に必要な疾患やその原因となる基礎知識を調べ、学習する。		3
7	事例基盤型学習：評価情報の整理 フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習Ⅰで経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。		4
8	事例基盤型学習：評価情報の整理 フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習Ⅰで経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。		4
9	事例基盤型学習：ICFを用いて情報の整理 フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習Ⅰで経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。		4
10	事例基盤型学習：ICFを用いて情報の整理 フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習Ⅰで経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。		4
11	事例基盤型学習：目標設定 フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習Ⅰで経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。		4

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

12	事例基盤型学習：統合と解釈 フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習 I で経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。	4
13	事例基盤型学習：治療計画立案 フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習 I で経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。	4
14	事例基盤型学習：まとめ フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習 I で経験した事例を教員の指導のもと、レポートにまとめる。	4
15	事例基盤型学習：まとめ フィードバック：授業時間内で実施 意見交換：授業時間内で実施	同時双方向型授業	個別に臨床実習 I で経験した事例を教員の指導の下レポートにまとめる。	4
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	40	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	30	10	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	30	20	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	0	5

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	試験	①		
レポート	①	②	事例を用いて、可能などところまでの評価項目の抽出、評価結果、解釈、焦点化、目標設定、作業療法計画をおこない、レポートとして提出。また、小クラス担任の指導のもと検討を重ねる。評価基準は別途配布するルーブリックを参照。	最終提出後にルーブリックにてレポート内容の評価を行い、その結果を学生に返却する
成果発表	①	②		
ポートフォリオ	①	②		
その他	①	②		

備 考

臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲの履修には本演習の単位を取得していることが必要である。

事例検討は臨床実習Ⅱの始まる直前 5/18-5/29 日程で行います。

担当教員：◎小沢健一、中西康祐、榎田哲弥、山鹿隆義、浅野克俊、池谷政直、海保享代

教員の実務経験：本科目を担当する教員は作業療法士として 5 年以上の実務経験を有する者で構成している。

実践的授業の内容：各教員の臨床経験を踏まえて、学生は事例に対する評価プロセスを教科書レベルからより実践に近い事例検討レベルで経験する。

印刷教材等での授業：メールにて配信を行い、課題はメールにて返信を行います。

双方向型授業：Microsoft Teams を使用して行います。

授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意してください。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢により再度シラバスの変更がありうる可能性があります。